

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	37864
事業名	教育の情報化推進費					
評価担当課	所 属	教)生涯学習部 学校支援課			電話番号	011-211-3826
施策名	将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業 内 容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	新学習指導要領では、「情報活用能力」が、言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」の一つとされ、重要な位置づけとなっている。「情報活用能力」の育成には、「各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ること」が必要とされており、校内通信ネットワークを含む学校ネットワーク、PC教室等に配置された高性能なICT機器及び付随するソフトウェア等の運用管理を担う事業が必要。 上記に加え、2018年度に示された文部科学省の「統合型校務支援システムの導入のための手引き」に基づき、「業務の軽減と効率化」及び「教育活動の質の改善」を目的とした校務の情報化が必要とされており、校務端末及び付随するソフトウェア等の運用管理を担う事業が必要。
	事業内容 (何を実施し)	①校内通信ネットワークを含む学校ネットワーク及び学校用ネットワークセンターの運用管理 ②教職員が使用する校務用端末及び付随するソフトウェアの運用管理 ③PC教室等に配置されたICT機器及び付随するソフトウェアの運用管理
	どのような状態にしたい (状態を維持したい)	ICTを効果的に活用した授業等の実施によって、教育の質の向上を図り、情報化・グローバル化した社会への対応を進めるとともに、子どもたちの学ぶ力・生きる力を育成し、創造性豊かで様々な課題に果敢に立ち向かい、札幌・世界の将来を担う自立した札幌人を育む。
	他都市の状況	GIGAスクール構想に基づき、全政令指定都市にて1人1台端末の整備が完了。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	2,363,385 千円	うち特定財源	92,395 千円	正規職員業務量	3 人工
令和5年度予算額	2,572,768 千円	うち特定財源	40,470 千円	正規職員業務量	3 人工
令和5年度決算額	2,443,085 千円	うち特定財源	32,848 千円	正規職員業務量	3 人工
令和6年度予算額	2,191,749 千円	うち特定財源	39,805 千円	正規職員業務量	3 人工

指標	アウトプット 活動指標1					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム 成果指標1	ひと月あたりの平均時間外勤務数が45時間以下の職員の割合			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		77%	78%	82%	81%	83%	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方						
	アウトプット 活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム 成果指標2	授業や校務にICTを効果的に活用できる教員の割合			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		81.90%	82%	82%	83%	85%	
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し 内容	なし
来年度以降の方 向性	引き続き、市立学校におけるICT環境に係る保守・運用を継続していく。